

●譜例-41-aは和音の押さえ方を書いてあります。

譜例-41-bはひき方が書いてあります。このひき方はアルペッジョ（分散和音）と呼び、目的にしている「和音」の各音を1コずつひいて、各音を耳に馴染ませる目的で用意しました。

\*押さえ方について：点線はとなりの和音同士に共通の音で、同じ指で押さえるときその指を「じく指」と呼びます。

譜例-41-a

\*和音の上書いてあるアルファベットは「コードネーム」といいます。  
それぞれ Am=エーマイナー、Dm=ディーマイナー、E=イーと読みます。

譜例-41-b

5 ひき方

●譜例-41-bに馴れたら、低音弦を1拍目に付けた譜例-41-cを練習して下さい。  
さらに響きが良くなって聞こえると思います。

9

●次第に音符横の情報が多くなります。

見馴れると自然に目に入りますが、書かれている数字や記号をよく読むようにしましょう。

譜例-41-cの各音を立てに積み上げてみましょう。

13

●各和音は指定の右指で一度にひくのですが、今の段階ではなかなか音が響いてくれないと思います。  
それもそのはず。皆さんはa指（右手薬指）をほとんど使ってこなかったのです。

譜例-43

17

\*a指をいきなりm,iと一緒に使おうとしてはいけません。  
a指はm指と同じ動きをすることが得意な指ですが、小指よりも独立性に劣る指でもあります。  
ほんの数日でいいので、譜例-43を練習してから a,m,i 3本指を一緒に使う練習に移りましょう。

●まず i を3弦に、mを2弦に、指先を軽く触れて下さい。

つぎに「1ト2ト3ト4ト」をゆっくり目にカウントして、そのカウントに合わせるようにして、a指だけで1弦をすべてアルアイレでひきます。

3拍目だけが4分音符になっています。リズムをつけて練習すると、指の運動機能が高まります。

8分音符より少し強めに、長さをできるだけ正確に余韻を伸ばして下さい